もっと輝く佐賀県へ

佐賀県
http://www.pref.saga.lg.jp/

佐賀さいこうビジョン2020

佐賀、さいこう！

目の不自由な方のための音声コード

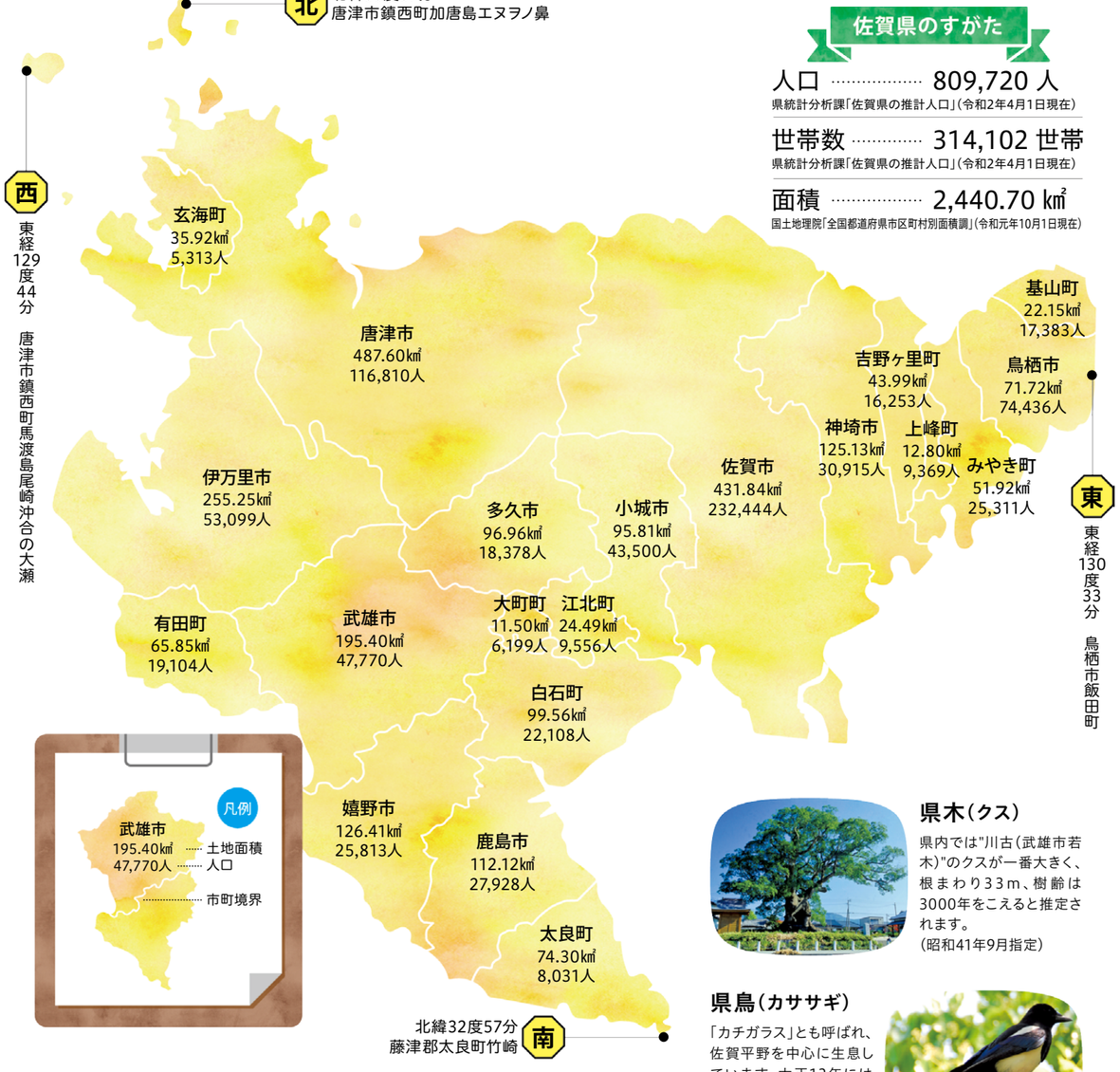
音声コードは1.8cm角の中で約1,000文字の情報が記憶できるもので、
専用の読み取り機がコードを音声に変換し、文章内容を読み上げます。
左の切りかきは、目の不自由な方がコードのある場所を認識するためのものです。

北 北緯33度37分 唐津市鎮西町加唐島エヌヨノ鼻

西 東経129度44分 唐津市鎮西町馬渡島尾崎沖合の大瀬

東 東経130度33分 鳥栖市飯田町

南 北緯32度57分 藤津郡太良町竹崎



佐賀県のすがた

人口 …… 809,720 人
県統計分析課「佐賀県の推計人口」(令和2年4月1日現在)

世帯数 …… 314,102 世帯
県統計分析課「佐賀県の推計人口」(令和2年4月1日現在)

面積 …… 2,440.70 ㎢
国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(令和元年10月1日現在)

県木(クス)

県内では"川古(武雄市若木)"のクスが一番大きく、根まわり33m、樹齢は3000年をこえると推定されます。
(昭和41年9月指定)

県鳥(カササギ)

「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心に生息しています。大正12年には天然記念物に指定され、保護鳥となっています。
(昭和40年5月指定)

県花(クスの花)

クスの花は5月に咲き、直径が3～4㎜で、愛らしい白ないし淡黄色をしています。
(昭和29年3月指定)

サガン鳥栖(2020年のスローガン)

佐賀支え愛

2020年度版 県政ガイド

佐賀さいこう!ビジョン2020 もっと輝く佐賀県へ

佐賀県 佐賀県 政策部 広報広聴課
http://www.pref.saga.lg.jp/
TEL 0952-25-7351 FAX 0952-25-7263 kouhou-kouchou@pref.saga.lg.jp
佐賀県ホームページ 佐賀県 検索 http://www.pref.saga.lg.jp/

人を大切に、
世界に誇れる佐賀づくり

今年は新型コロナウイルス感染症が世界中で広がりました。外出自粛や休業要請にご協力いただいた皆様、学校の休校でたくさんの我慢をしてくれた子どもたち、厳しい状況の中、現場を支えていただいた医療関係者の方々、この難局を乗り越えるために一丸となって頑張っていただいている県民の皆様に心から感謝申し上げます。

コロナ対応を迫られている社会、収束後の社会は、大きく変わっていきます。佐賀県は、地域の強みを活かしながら、新しい時代に向かって、佐賀ならではの構想力を持ち、創造性を発揮し、団結していくことを大切にしていきたいと考えています。

引き続き、皆様の声をお聞きし、痛みに寄り添い、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」に力を尽くしていきますので、チーム佐賀、オール佐賀で、ともに乗り越え、新しい時代への一歩を踏み出していきましょう。

佐賀さいこう！

一つになって、
乗りこえよう。
TEAM SAGA ALL SAGA

佐賀県知事 山口 祥義（よしのり）

政策推進の視点

さが デザイン

県産品、街並みなどの「モノ」と、社会のシステム、サービスなどの「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人のくらし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにします。

さが創生

佐賀県にある「本物」の地域資源の磨き上げや、女性が活躍する社会づくりの推進などにより、雇用や新しいひとの流れ、子育ての希望をかなえる環境、時代に合った地域社会を創り出します。

県政運営のキーワード

現場
現場第一

ミッション
本来の目的を見失わない

プロセス
プロセスを大切に

この冊子では、2020年度の佐賀県の主な取組を皆様にご紹介します。

CONTENTS ―目次

2020年度県の主な取組の紹介

スポーツのチカラを活かす	p 3
人が輝く環境づくり	p 5
地域とつながる	p 7
佐賀らしいまちをつくる	p 9
魅力を伝える	p12
宝を未来につなぐ	p15
人の想いに寄り添う	p18
子育てを支えあう	p21
くらしを守る	p23
佐賀県のすがた	**p25**

sports

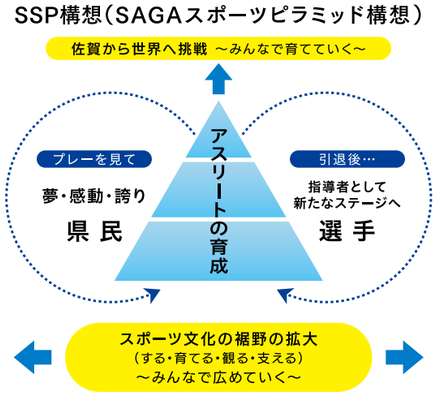
スポーツのチカラを活かす

1 スポーツのチカラを活かした人づくり・地域づくり「SSP構想」

誰もがスポーツを楽しみ、その輪が広がることで、一体となって盛り上がれるようなまちをつくりたい――「SAGAスポーツピラミッド（SSP）構想」は、そんな思いから誕生しました。「SSP構想」では、スポーツを〝する・育てる・観る・支える〟といった多様な楽しみ方ができるようスポーツ文化の裾野を広げるとともに、アスリートの育成に力を入れるため、「人材育成」「練習環境の充実」「就職支援」の3分野を基本方針に掲げています。

人材育成では、「スポーツエリートアカデミーSAGA」において、国内の一流指導者を定期的に招へいし、県内の指導者とチームを組んで指導する「競技伴走型支援」の体制を構築。選手たちが全国大会での活躍を果たすなど、指導の成果が表れてきています。さらに、オリンピックなどの世界大会で活躍する選手や全国大会の上位入賞者など日本トップクラスの選手、それぞれの段階に応じた支援を行っています。

この他、就職支援では、社会人アスリートと県内企業のマッチングを行う「SSPアスリートジョブサポ事業」により、佐賀で働きながら競技を続けている選手が増えています。



2 みんなでつくる「SAGA 2023（サガ ニーマルニーサン）」

令和5（2023）年、国民体育大会が国民スポーツ大会に変わる最初の大会が佐賀県で開催されます。この「SAGA2023」（第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会）は、名称が「スポーツ大会」に変わるだけでなく、スポーツだからできることにこだわった、これまでにない大会を目指します。現在、「IDEA（アイデア）2023」プロジェクトを実施中です。〝体育からスポーツに変わる今、皆で何ができるか〟について、皆さんからアイデアを募集しています。ぜひ一緒に、新しい大会をつくりましょう！

お問い合せ先

1【SSP構想】SSP推進グループ ☎0952-25-7345 ✉ssp-g@pref.saga.lg.jp　SSP公式 URL https://ssp.saga.jp/
2【SAGA2023】SAGA2023総務企画課 ☎0952-25-7322 ✉saga2023soumu@pref.saga.lg.jp
SAGA2023公式 URL https://www.saga2023.jp
facebook https://www.facebook.com/2023saga/ instagram https://www.instagram.com/saga_2023/
twitter https://www.twitter.com/saga_2023

SAGA 2023

国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。

3 障害者スポーツ体験教室を開催します！

障害のある方を対象とした各種競技種目の体験教室を開催します。

教室では、全国障害者スポーツ大会正式種目を体験してもらうことで、競技の普及や選手の発掘を図り、「SAGA2023」での全種目出場を目指します。

4 新たな交流を生むSAGAサンライズパーク

「SAGA2023」を契機に、県では、SAGAサンライズパーク（総合運動場・総合体育館エリア）の整備を進めています。

昨年度は、ボクシング場・フェンシング場やエアーライフル射撃場「シューティングレンジ」が完成しました。現在はスポーツだけでなくコンサートなど多目的に活用できる約8,400席規模の「SAGAアリーナ」や国際大会の開催も可能な水泳場「SAGAアクア」などの建設工事を行っています。

アリーナ入口
イメージ図

SAGAサンライズパーク完成イメージ

SAGAアリーナ
内部イメージ

お問い合せ先

3【障害者スポーツ】スポーツ課 ☎0952-25-7331 ✉sports@pref.saga.lg.jp
佐賀県障がい者スポーツ協会 URL https://sasyouspo.sakura.ne.jo instagram https://www.instagram.com/saga.spokyo/
佐賀県競技力向上推進本部 facebook https://www.facebook.com/all.saga.35
4【SAGAサンライズパーク】SAGAサンライズパーク整備推進課 ☎0952-25-7482 ✉sunrisepark@pref.saga.lg.jp
SAGAサンライズパーク整備事業 URL https://www.pref.saga.lg.jp/list03887.html

shine

人が輝く環境づくり

1 私立高校生の県内就職の希望を応援します

県内の私立高等学校に通う生徒のうち、卒業後に就職を考えている生徒の多くは、県内での就職を希望しています。しかし、近年、就職希望者の県内就職率は低下する傾向にあり、新たな県内求人の獲得が課題となっています。

このため、県では、県内企業からの新規求人を増やし、生徒の県内就職につなげることを目指し、資格取得や技術習得に必要な設備の整備や外部講師の招へいを支援しています。

生徒の実習の様子（土木関係）

生徒の実習の様子（介護関係）

こうした取組により、私立高校生が県内就職の希望を叶え、母校で身に付けた力を発揮し、地域経済の担い手として活躍していくよう後押ししていきます。

2 佐賀を支えるドクターを育て、支援します

佐賀県では、高齢化に伴い、医療機関への受診者が更に増えることが予想されます。

一方で、佐賀県で育った医師の多くが県外に流出しており、県民が安心して医療サービスを受けるためには、佐賀県の医療を担う医師の育成と定着が必要です。

特に、脳梗塞や心筋梗塞、交通事故による外傷などの一分一秒を争う医療を担う専門の医師や、患者を選ばず総合的な診療ができる医師の育成が重要と考えています。

お問い合せ先

1【私立高校】法務私学課 私立中高・専修学校支援室 ☎0952-25-7464 ✉houmu-shigaku@pref.saga.lg.jp
2【医師育成・定着】医務課 ☎0952-25-7073 ✉imu@pref.saga.lg.jp

こうしたことから、今後県では、佐賀大学、好生館、地域の医療機関などと連携し、医師が働きやすい環境や、県内で特に重要と考えられる医師が育つ環境づくりの推進に力を入れていきます。

3 県内産業を担うIT人材の育成・確保に向けて

AIやIoTなど先進技術によって働き方が目まぐるしく変化する中、県内企業においても、ITの知識や技術を持った人材が育ち、活躍していくことが、地域経済や社会の発展にとって不可欠です。

こうしたことから、企業に必要とされるプログラミング等のセミナーや、IT産業と多様な人材を結びつける機会を設け、企業が新たなビジネスを創出する支援をしていきます。

また、ものづくり産業を対象に、生産性向上に取り組む企業へのAI・IoT技術の導入や社内人材の育成を支援することで、県内企業の生産性向上を目指します。

AI・IoT導入支援

4 若者の県内定着を促進！

佐賀県は、素晴らしい技術や特徴を持つ企業が多数あり、また、豊かな食や、人と人との深いつながりがあるなど、生活しやすく、魅力にあふれた地域です。

一方で、佐賀で学ぶ高校生は、卒業後、就職者の約４割、進学者の約８割が県外を選んでいます。

このため、県は、高校生の就職について、全ての専門学科高校、総合学科高校に支援員を配置し県内企業への就職活動を支援するとともに、企業の魅力を伝える企業説明会を開催しています。

大学生や既就職者の就職（転職）については、就職支援サイト「さが就活ナビ」や「さがUターンナビ」による情報発信、就職支援施設「ジョブカフェSAGA」によるキャリア相談などのほか、県内企業との交流会やWEB企業説明会の開催、WEB面接の支援、県外進学者や在住者の県内就職活動のための交通費助成などを行っています。

また、佐賀県のしごと相談室では、県外在住者に対して、さが移住サポートデスクによる移住支援とあわせて県内企業への就職を支援しています。

こうした取組を通じ、若者が佐賀で夢を叶え、地域経済の担い手として活躍していくよう産学官で連携し、後押しをしていきます。

県内企業と
大学生との交流会

お問い合せ先

3【IT人材育成】産業政策課 DX・スタートアップ推進室 ☎0952-25-7586 ✉ innovation@pref.saga.lg.jp
産業人材課 ☎0952-25-7310 ✉ sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp
ものづくり産業課 ☎0952-25-7421 ✉ monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp
4【若者県内定着】産業人材課 ☎0952-25-7310 ✉ sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp

together

地域とつながる

1 地域おこし協力隊と一緒に地域を盛り上げます！

地域おこし協力隊とは、地方自治体が、地域外から人材を積極的に受け入れ、その人たちに「地域おこし協力隊員」となってもらい、農業・漁業への従事や地場産品の開発・販売、地域の魅力PRなど、様々な活動を行ってもらいながら、その地域への定住と定着を図る取組です。

協力隊の方々が地域との結びつきを強め、円滑に活動できる環境があれば、それまでの経験を存分に生かすことができ、新たなアイデアが生まれるなど、地域の可能性が広がります。さらに協力隊相互の交流や情報交換、ネットワークづくりなどを行うことで、受け入れた地域だけではなく、佐賀県全体の地域力向上にもつながります。

そこで佐賀県は、地域おこし協力隊の受入・支援体制を強化し、地域おこし協力隊の受入・定着を進めていくことで、佐賀県全体の地域力向上につなげます。

棚田の保全活動

有田焼を活用した地域活性化

2 高齢者の社会参加を推進します！

佐賀県の高齢者は、8割以上が要介護・要支援認定を受けていない元気な方々です。こうした方々に地域社会を支える重要な担い手となっていただきたいという思いから、県内4ヵ所で開講しているシニアのための生涯学習の場「ゆめさが大学」では、地域をあらためて知る様々な講座を設けています。また、実践的な地域活動のノウハウを学ぶ講座にも力を入れています。

高齢者福祉施設訪問：佐賀校

お問い合せ先

1【地域おこし協力隊】さが創生推進課 ☎0952-25-7376 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
さがじかん（地域おこし協力隊特設ページ） URL https://www.sagajikan.com/chiikiokoshi
2【高齢者社会参加推進】長寿社会課 ☎0952-25-7054 tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp
ゆめさが大学（(公財)佐賀県長寿社会振興財団） URL https://sagachouju.jp./yumesaga/

駅前公園の緑化活動：佐賀校

観光ガイドのノウハウを学ぶ：鹿島校

卒業生の活動は、福祉施設への慰問、街の緑化活動、観光ガイドなど多岐にわたっており、約7割の卒業生が、何らかの地域活動をされています。

今年度から新たに鳥栖校を開校しました。より多くの方々が学び、交流し、地域の担い手として活躍されるよう、高齢者の社会参加を推進していきます。

3 総文祭の志をつなぐ高等学校等の文化部活動を支援します

令和元（2019）年7月に佐賀県で開催した「第43回全国高等学校総合文化祭（2019さが総文）」では、全国から集まった高校生たちが、日ごろの練習や研究などの成果を発揮し、レベルの高い作品や演技などを披露しあうとともに、芸術文化を志す仲間との交流を深めました。

「2019さが総文」の成功による芸術文化振興への機運をさらに高めるとともに、高校生たちがそれぞれの活動を通して豊かな感性を育むため、県は、文化部活動を支援します。部員が少なく困っている文化部が学校の枠を越えて合同で活動する場をつくる経費や、部員が全国レベルの大会に参加し、素晴らしい作品などに触れるための経費などを補助することで、「志」をもって生き生きと活動する生徒たちを応援していきます。

4 地域とつながって高校の魅力を向上

県立高校8校では、「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」に取り組んでいます。

このプロジェクトでは、高校生が地域の方々とともに、地域の課題解決に取り組んだり、地域ならではの資源や人材を活用した活動に取り組んだりしています。こうした経験や地域の方々との交流を通して、生徒たちは、問題解決能力やコミュニケーション能力を高めるとともに、多様な価値観に触れたり、学校内の活動では得られない達成感や自己有用感を高めたりしています。

これからも、地域に根差した魅力と活力ある高校づくりを進めていきます。

小・中学生プログラミング教室
（白石高校）

お問い合せ先

3【さが総文】学校教育課 ☎0952-25-7222 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp
4【高校魅力づくりプロジェクト】教育振興課 ☎0952-25-7424 ✉kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp
地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト
URL https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list04366.html

create

佐賀らしい まちをつくる

佐賀県観光PRキャラクター
壺侍［つぼざむらい］

1 県民も観光客も満足する観光地域づくり

県及び佐賀県観光連盟では、「佐賀県地域の担い手創生塾」により、地域で観光に携わる方々が、観光地域づくりに必要なマーケティングやマネジメントといったスキルやノウハウを習得することを目指しています。この講座では、フィールドワークを通じて、地域の方々自らが、観光地域づくりに持続的に取り組んでいけるよう支援します。

海外からの観光客をはじめ、多様化する観光客のニーズを把握し、地域資源を磨き上げることで、佐賀県が観光客から選ばれる地域になるだけでなく、県民も満足する地域づくりを目指します。

2 名護屋城跡・陣跡の魅力を磨き上げる

唐津市鎮西町・呼子町及び玄海町一帯に点在する「名護屋城跡並びに陣跡」は、文禄・慶長の役（1592-1598年）に際して豊臣秀吉や徳川家康等の諸大名が滞在した城郭の遺跡群です。玄界灘に面した豊かな自然の中、壮大な石垣が残る名護屋城跡や約150ヵ所にわたって広がる陣跡とともに、古い街道や武将にまつわるエピソードも残るなど、歴史の魅力あふれる場所です。

県では、これらを活用し、文化ツーリズムの拠点として磨き上げていく取組に着手しています。遺跡を楽しく巡ることができる周遊ツールの制作や陣跡の再整備、イベントの開催や積極的な情報発信を行うことで、佐賀の歴史や文化、そして地域の魅力に触れていただく場となることを目指しています。

お問い合せ先

1【観光地域づくり】観光課 ☎0952-25-7386 ✉kankou@pref.saga.lg.jp
2【名護屋城跡・陣跡の利活用推進】文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
名護屋城博物館 URL https://saga-museum.jp/nagoya/

3 再エネ先進県の実現へ、令和の精煉方始動！

昨年10月、県内に再生可能エネルギー関連産業を創出するため、佐賀県は佐賀大学と共同で「再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム（呼称CIREn（セイレン）※）」を設立しました。

大学をはじめ企業やNPO団体等121者（令和2年5月末現在）の参加を得て、それぞれの知識や技術を組み合わせた研究開発等につなげるため、参加者間の交流のほか、事業テーマごとに設置した研究分科会の事業費を支援しています。

例えば、避難所として利用される体育館における地中熱とLPガスとの複合空調システムや、AI・IoT技術を活用した電力需給予測等システムの開発検討など、現在10テーマについて研究分科会が活動中。

CIREnでは、再生可能エネルギーを中心とした社会実現を目指し挑戦を続けています。

CIREn
Co-creative Innovation platform for Renewable Energy

※CIREn…

英語名　Co-creative Innovation platform for Renewable Energyの頭文字をとってつけた呼称。
維新期に佐賀藩が設置した日本最先端の科学技術研究所「精煉方」にちなみ、読みは「セイレン」とした。

OPEN-AIR佐賀

佐賀県では、新型コロナウイルスの感染リスクの少ないスタイルとして、多彩なアウトドア体験を提案する「OPEN-AIR佐賀」を進めています。広く澄みわたる青空のもと佐賀の様々な魅力を体感してください。

［OPEN-AIR 佐賀］

PLAYLAND　CAMP　FLOWER

フォレストアドベンチャー・吉野ヶ里

お問い合せ先

3【再生可能エネルギー】新エネルギー産業課 ☎0952-25-7522 ✉shin-ene@pref.saga.lg.jp
再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム URL https://ciren.jp

4 歩くライフスタイルでまちも人も元気に！

自家用車中心のライフスタイルから、歩くことや自転車、公共交通機関などを積極的に取り入れた「歩くライフスタイル」へ変えてみませんか。

県では、「歩こう。佐賀県。」をスローガンに、歩きたくなる環境づくりに取り組んでいます。

既に多くの方にご利用いただいているウォーキングアプリ「SAGATOCO」では、ウォーキングコースの追加など、機能を充実していきます。

また、路線バスの利用促進やサイクルツーリズムの推進、「まち歩き」イベントの開催などで、歩く楽しさを提案します。

歩きたくなるまちを目指すことで、まちが賑わい、環境にもやさしく、県民の方々も健康になるといった様々な効果が期待できます。

佐賀に暮らす人も、佐賀を訪れる人も過ごしやすく、活気あふれる佐賀県になるように、「歩こう。佐賀県。」。

歩こう。佐賀県。

5 始めましょう！さが健康維新県民運動

佐賀県では、メタボリックシンドロームや、その予備群が増加しています。

このような状況を改善するため、佐賀県では、「歩く・身体活動」「食と栄養」「たばこ」「歯と口の健康」の4つを柱とした「さが健康維新県民運動」を展開しています。

この柱のうち、「歩く・身体活動」では、ウォーキングアプリ「SAGATOCO」を配信し、県民の方々が歩きたくなる環境づくりをしています。

「食と栄養」では、野菜を先に食べることや野菜を多く食べることを、子どもから働き盛り世代に広げていきます。特に、子どもたちには、絵本を制作し、読み聞かせを通して繰り返し呼び掛けていきます。

このような取組を通して、皆さんの健康づくりを応援していきます。

具体的には？

県民の“元気で長生き”（健康寿命の延伸）を目指し、
４つの分野で健康づくりの様々な取組を行っていきます

歩く・身体活動	食と栄養
まず、10分長く歩こう ・目指そう、プラス1,000歩/日	まず、野菜を一皿多く摂ろう ・目指そう、プラス80g/日
歯と口の健康	**たばこ**
まず、歯の健診に行こう ・目指そう、80歳で自分の歯20本	まず、禁煙にチャレンジ ・目指そう、６ヵ月後の卒煙

お問い合せ先

4【歩くライフスタイル】交通政策課 ☎0952-25-7525 ✉koutsuuseisaku@pref.saga.lg.jp
5【さが健康維新県民運動】健康増進課 ☎0952-25-7075 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp
佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」 URL http://saga.karada.live/

communicate

魅力を伝える

1 佐賀が誇る「諸富家具」の世界進出を応援します！

佐賀県の伝統的地場産品である諸富家具は、近年、低価格商品の流行や、家具を買うこと自体を控える風潮など取り巻く環境が変化しており、新たな取引先の開拓が重要な課題となっています。

こうした中、諸富家具の産地組合では、海外の市場に向け、諸富家具ブランドのPRや販売に力を入れています。海外のデザイナーとの連携による独創的で技術力の高い商品を製作するなど、活動の場を広げたことで、認知度の向上や輸出実績などの成果が出てきています。

県では、今年度、世界最大級の家具展示会が開催されている北米・イタリア市場に取り組む組合員グループと、アジア市場に取り組む組合員グループに対して、商品開発や海外営業、産地での勉強会開催などの事業費用を補助し、諸富家具産地全体の海外進出を応援していきます。

2 佐賀ん焼き物のアジア市場進出を応援します！

国内市場の縮小が見込まれる中、県内の陶磁器業界では、様々な展示会出展や営業活動によって積み上げてきた経験や商品の力を活かして、新しい市場を開拓していくことが必要とされています。

特に近年成長が著しいアジア市場は、佐賀県が取り組むサガマリアージュ(※1)などをきっかけに構築した人脈を活かせることから、新たな陶磁器の販売先として有望です。

県では、企業の輸出支援に関してノウハウとネットワークをもつジェトロ佐賀貿易情報センター(※2)に今年度の業務を委託し、アジア市場でも特に有望な上海や台湾を対象に、現地の取引習慣等に詳しい専門家による産地やオンラインでの勉強会、現地調査や商談実施など、県内事業者の海外市場開拓を支援します。

※1.サガマリアージュ：優れた器と食と料理人をつなぎ、新たな価値を創造する佐賀県の取組
※2.ジェトロ佐賀貿易情報センター：日本貿易振興機構（ジェトロ）の佐賀現地機関

お問い合せ先

1【諸富家具】流通・貿易課 ☎0952-25-7095 ✉ ryuutsuu-boueki@pref.saga.lg.jp
諸富家具振興協同組合 URL http://morodomikagu.or.jp URL https://www.ariakecollection.com
2【陶磁器】流通・貿易課 ☎0952-25-7095 ✉ ryuutsuu-boueki@pref.saga.lg.jp
ジェトロ佐賀 URL https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/saga/
facebook https://www.facebook.com/jetrosaga/

3 県都の玄関口で佐賀の魅力を発信します！

観光や県産品を中心に、文化やスポーツも含めた佐賀の魅力を発信する「SAGA MADO（サガ マド）」を「コムボックス佐賀駅前※」に開設しました。

〝目的地として集い、また来たくなる観光・県産品の情報発信拠点〟をコンセプトに、上質でおしゃれな佐賀らしい県産品の展示やテストマーケティングなどを行い、県産品の認知度向上や販売促進につなげていきます。

「SAGA MADO」内の観光案内所は、ワンストップで県内全域の観光案内やニーズに応じた旅の提案を行うなど、県内各地へのハブ機能を担い、質の高いおもてなしを提供しています。

観光客はもちろん、若者から大人まで幅広い世代の県民など多くの人たちが集う魅力的な空間で、世界に誇る優れた佐賀の「本物」の魅力を体感してください。

※コムボックス佐賀駅前…佐賀駅前にある商業施設

4 県立博物館50周年特別展『THIS IS SAGA』を開催します

佐賀県立博物館（昭和45（1970）年10月開館）は、今年50周年を迎えます。この大きな節目に、いち早く世界とつながり、優れた文化を取り入れ、発展させた、佐賀の先人たちの「志」を全国に向けて発信する特別展『THIS IS SAGA』を開催します。

今回の特別展では、有明海と玄界灘の2つの海がつないだ佐賀と世界の交流の歴史、そして今に受けつがれる先人たちの進取と創造の精神とその志を紹介します。当館の学芸員がおすすめする佐賀の逸品を一堂に展示します。ぜひお楽しみください。

『楊柳観音像』高麗時代（13世紀）
唐津市鏡神社蔵　重要文化財

佐賀県立博物館50周年特別展
THIS IS SAGA
－2つの海が世界とつなぎ、佐賀をつくった－

◆会　期
令和2年
9月18日（金）～11月3日（火・祝日）
休館日：9月23日（水）、毎週月曜日
（9月21日（月・祝）と11月2日（月）は除く）

◆開館時間
9時30分～18時00分（金曜日のみ20時00分）

お問い合せ先
3【SAGA MADO】流通・貿易課 ☎0952-25-7252 ✉ ryuutsuu-boueki @pref.saga.lg.jp
4【50周年特別展】佐賀県立博物館・美術館 ☎0952-24-3947 ✉ hakubi@pref.saga.lg.jp

5 特別展『よみがえれ！佐賀城本丸御殿』

鬼瓦（佐賀県蔵）

◆会期　令和３年
1月22日（金）～3月7日（日）

佐賀城本丸御殿は、天保9（1838）年に佐賀藩10代藩主・鍋島直正によって再建されました。佐賀県立佐賀城本丸歴史館は、そのうち「表」（儀礼空間）の部分を中心に全体の約3分の1（2,500㎡）を復元した建物です。

明治維新150年を機に、平成29（2017）年から4年間をかけ、それまで未調査だった「外」（藩政機関）や「内」（藩主の日常空間）、「奥」（女性の居住空間）の跡地を中心に、発掘調査を実施しました。

本展覧会では、これまでの発掘調査を総括し、江戸時代の建物の位置や間取りを原寸大で現地に平面表示するとともに、出土遺物やグラフィック展示を連動させ、佐賀城本丸御殿を現代によみがえらせます。

6 開館40周年記念・寄贈記念特別企画展『高取家コレクション』『柴澤コレクション』

九州陶磁文化館では、開館40周年記念・寄贈記念　特別企画展『高取家コレクション』と『柴澤コレクション』を開催します。

『高取家コレクション』では、唐津の旧高取邸で多くの人びとをもてなした約1,200件の陶磁器から、灰釉彫文茶碗（かいゆうほりもん ちゃわん）銘「玄海（げんかい）」（県重要文化財）をはじめとする唐津、有田、鍋島などの肥前陶磁、日本各地や中国、ヨーロッパの陶磁器などまで190件をご紹介します。

『柴澤コレクション』では、北前船などの日本海海運によって流通し、新潟や山形などに伝わった江戸時代の肥前磁器（古伊万里）を中心とするコレクション432件をおひろめします。

灰釉彫文茶碗（かいゆうほりもん ちゃわん）　銘「玄海（げんかい）」
佐賀県重要文化財
肥前　1580～1600年代

色絵椿蓮文大皿（いろえつばきはすもん おおざら）
肥前　有田　1650年代

高取家コレクション
◆会期　令和２年5月23日（土）～7月12日（日）

柴澤コレクション
◆会期　令和２年10月16日（金）～12月13日（日）

お問い合せ先
5【特別展：よみがえれ！佐賀城本丸御殿】
佐賀県立佐賀城本丸歴史館 ☎0952-41-7550 ✉ rekishikan@pref.saga.lg.jp
佐賀県立佐賀城本丸歴史館 URL https://saga-museum.jp/sagajou/
6【高取家・柴澤コレクション】佐賀県立九州陶磁文化館 ☎0952-43-3681 ✉ kyuto@pref.saga.lg.jp
佐賀県立九州陶磁文化館 URL https://saga-museum.jp/ceramic/

connect

宝を未来につなぐ

1 中山間地域の農業を応援します

私たちの暮らしに恵みをもたらす「山」を将来にわたって引き継いでいくためには、中山間地域の農業を支え、農地を守り続けていくことが重要です。

このため、県では、中山間地域の農業を支える広域営農モデル組織の設立を支援しています。広域営農モデル組織は、担い手の減少や高齢化等により営農を続けることが困難となった農地を引き受けたり、農作業の一部を代行する役割などを担うこととしており、複数の集落が一体となって農作業の労力を補う体制を目指します。

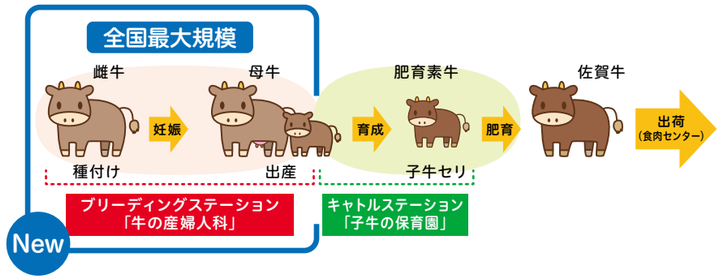
また、棚田地域活性化コーディネーターをモデル棚田地域に配置し、今後も棚田が保全されるよう地域の自主的な取組を支援していきます。

2 佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛の生産拡大へ

将来佐賀牛になる子牛（肥育素牛）(※1)の約7割は他県から来ており、佐賀生まれの子牛は29・2％（令和元年度）にとどまっています。佐賀牛の安定生産のためには、県内での肥育素牛を早急に増やしていく必要があります。

このため、主要産地である唐津地域で、全国でも最大規模の「牛の産婦人科」ともいうべきブリーディングステーション(※2)をモデル的に整備し、肥育素牛の数を大幅に増やします。この施設は、繁殖雌牛の種付けから分娩までの過程を農家に代わって行うだけでなく、繁殖農家等の不妊牛を預かり行っている各市町のシルバー人材センターや県内ハローワーク等と連携し、農家等からの求人の相談に応じます。

今後は、相談窓口がスムーズに運営されるよう、JAをはじめ、関係機関と連携して、農業分野の人手不足解消に取り組みます。



※1．肥育素牛…繁殖農家が約10か月間育てて出荷する子牛のことです。この肥育素牛を仕入れた肥育農家がさらに約20か月間育てて出荷することで佐賀牛などの牛肉になります。

※2．ブリーディングステーション…繁殖雌牛の種付けから分娩までの過程を農家に代わって行うことにより、受胎率の向上や農家の労働力軽減を図るための繁殖支援施設のことです。

お問い合せ先

1【中山間地域農業】農政企画課 ☎0952-25-7115 ✉nouseikikaku@pref.saga.lg.jp
2【ブリーディングステーション】畜産課 ☎0952-25-7121 ✉chikusan@pref.saga.lg.jp

治療を行う機能や、担い手を確保・育成するための研修機能も備えた画期的なものです。

こうした取組によって、肥育素牛の県内自給率を高め、「佐賀生まれ、佐賀育ち」の佐賀牛の生産拡大を進めていきます。

3 農業分野の人手不足の解消に取り組みます

少子高齢化を背景に、様々な業界で人手不足が生じています。県内の農家やJAの選果場など農業の現場でも、農繁期の収穫作業等で人手不足が課題となっています。

こうした状況を解消するため、県とJAや関係団体で検討を重ね、7月1日にJAさがが実施主体となり、農家等からの労働力確保の相談にワンストップで対応する「労働力相談窓口」が設置されました。

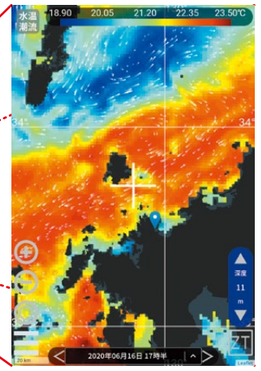
相談窓口では、シニア層の人材派遣を

4 玄海地区漁業のスマート化を推進します！

玄海地区の漁業は、漁獲量の減少や水産物価格の低迷、燃油や資材コストの上昇により厳しい状況となっています。こうした状況を少しでも改善するためには、ICT※などの技術を活用し、漁業をこれまで以上に効率化する取組が不可欠です。

県では、大学や国の研究機関等と連携し、3日先までの海の中の水温、塩分、潮の流れを予測できる画期的な技術などを開発してきました。

こうした技術は、より多くの漁業者が利用し効率化を実現してもらわなければ意味がありません。そこで、開発した技術を、実際の漁の現場で漁業者の方々と一緒に検証しながら改良するとともに、技術の普及を図ることでスマート漁業を推進し、漁家経営の改善を図っていきます。



海況予測アプリ画面3日先までの海の中を予測できる

※ICT…情報通信技術

お問い合せ先

3【農業労働力確保】農産課 ☎0952-25-7118 ✉nousan@pref.saga.lg.jp
4【漁業スマート化】水産課 ☎0952-25-7145 ✉suisan@pref.saga.lg.jp

5 未来へつながる 山のネットワークを 構築します！

「山」は、そこに暮らす人々だけでなく、平野部の暮らしを支え、豊かな海を育むなど、すべての人々に恵みをもたらす〝源流〟です。

県では、山における暮らしや営みを持続可能なものにするために、今後の山の役割や山での取組について人々が語り合い、ネットワークを構築することで、未来へつながる県民の自発的な〝山活〟※の輪を広げる取組を進めています。

今後は、山に暮らす人々や山に関心のある人々をつなぎ、〝山活〟に取り組むきっかけづくりの場として「山の会議」（仮称）を開催するとともに、山での取組や魅力を県内外に発信していきます。

※山活…山の資源を活用した取組、山の管理、山の魅力発信などの活動

「山」の地域でも進む「自発の地域づくり」

6 園芸農業の産出額を 2028年までに 888億円へ

県では、「稼げる農業」を実現するため、令和元（2019）年度から、生産者や関係機関・団体と一丸となり、園芸農業を振興する「さが園芸生産888億円推進運動」を展開しています。

運動では、産地ごとに収量増加や栽培面積の拡大などを目指す、園芸産地88計画が策定されています。今年度はこの計画に基づき、大規模農家の育成や、多様な担い手の確保・育成、新たな園芸産地の育成など、目標達成に向けた取組が実践されています。また、県では、ハウスや機械の導入への支援や、園芸団地の整備、新たな園芸品目導入の検討など、ソフトとハードの両面から支援を行っています。

これにより、平成30（2018）年は585億円だった園芸農業の産出額を、令和10（2028）年には888億円に伸ばすよう努めていきます。

令和3年の次期作に向けて支援を強化する玉ねぎ

高収量化・高品質化の生産技術に取り組むいちご新品種「いちごさん」

マルチ栽培による高品質な温州みかんの生産

環境制御技術を用いた施設園芸（きゅうり）の展開

霜被害を軽減する防霜施設を設置した茶園

お問い合せ先

5【山のネットワーク】さが創生推進課 ☎0952-25-7118 ✉sagasousei @pref.saga.lg.jp
6【園芸農業】園芸課 ☎0952-25-7119 ✉engei@pref.saga.lg.jp
さが園芸生産888億円推進事業を紹介します。
URL https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00324423/index.html

considerate

人の想いに寄り添う

1 在宅人工呼吸器使用者の 災害時の安全を守ります

障害や慢性疾患などにより在宅で人工呼吸器を使用している方は、災害時に停電した場合、予備のバッテリーを使っても電源が最大24時間ほどしかもたないため、生命に危険が及ぶ恐れがあります。

このため県では、災害等で電源が失われた場合でも、少なくとも3日間（72時間）は電源確保ができるように、今年度から自家発電機や蓄電池、外部バッテリー等の購入費を補助します。

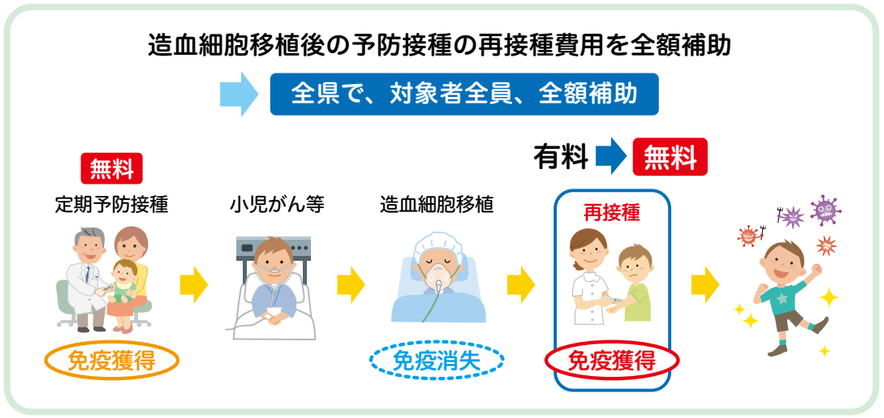
在宅で人工呼吸器を使用して生活されている方が安心して暮らせるよう、環境を整えていきます。

2 予防接種の 再接種費用を 全額補助します

小児がんなどで造血細胞移植※を行うと、それまでに予防接種で獲得していた免疫が無くなることから感染症にかかるリスクが高くなります。そのため、再度、予防接種が必要です。

しかし、予防接種の再接種にかかる費用は、定期予防接種となっているワクチンでも、原則、任意接種の扱いとなることから、全額自己負担となり、経済的負担が大きくなっていました。

このため、県では今年度から、造血細胞移植を行った20歳未満の方を対象に、予防接種の再接種費用を全額補助します。子どもたちが、造血細胞移植後も学校など



お問い合せ先

1【人工呼吸器】障害福祉課、健康増進課、こども家庭課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
2【予防接種】健康増進課 ☎0952-25-7075 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

どの集団生活を安心して送れるよう支援していきます。

※造血細胞…
・血球を作り出すもとになっている細胞。細胞分裂を繰り返しながら造血を行っている。

※造血細胞移植…
・通常の化学療法や免疫抑制療法だけでは、治すことが難しい血液がんや免疫不全症などに対し、完治を目的として行う治療。
・超大量の抗がん剤や放射線療法により患者の体内の悪性細胞や機能不全の骨髄を徹底的に根絶し、その後正常な造血細胞を静脈内投与することにより骨髄の再構築を図る治療法。

3 すべての難聴児を支援します

言葉や知識、コミュニケーション能力など様々なことを習得する学齢期において、〝聞こえる〟ということはとても大切です。しかし、聞こえづらいために、「授業についていけない」「コミュニケーションが取りづらい」という困りごとを抱えながら生活をしている子どもたちがいます。

そのため、県では、身体障害者手帳の交付対象とならない18歳以下の中度・軽度難聴児への支援として、これまで、補聴器の購入や修理費等を助成してきましたが、今年度から新たに、片耳難聴児や人工内耳を装用している難聴児へも助成対象を広げます。聞こえづらいことで困っている子どもたちに寄り添い、それぞれの学びやコミュニケーションの機会をサポートします。

4 障害者手帳のカード化が始まります！

佐賀県では、全国に先駆けて、障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）をカード化します。

カード型の障害者手帳は、財布やパスケースにも入るサイズなので持ち運びしやすく、耐久性もあり、利便性が向上します。

これまでどおりの紙製の障害者手帳も発行できますので、使用される方ご自身で、紙製もしくはカード型のいずれかをお選びください。

カード型障害者手帳のイメージ

5 発達障害児やその家族への支援体制の充実

発達障害のあるお子さんをもつご家族、子育てが難しいと感じている方々には、子育てへの段階的で丁寧な支援を行うことが大切です。

こうした方々への支援の一つに、子育て応援プログラム「ペアレント・プログラム」があります。ご家族が、お子さんの行動の特性を学び、かかわり方を工夫することで楽しく子育てをする自信をつけたり、子育ての仲間を見つける機会となっています。

県では、このプログラムの講師や、児童発達支援センターの支援者を養成し、ペアレント・プログラムを提供する体制を整えます。

また、身近な地域のかかりつけ医を対象に、発達障害に関する知識や家族への支援方法の研修を実施することで、発達障害児やそのご家族への支援体制の充実を図っていきます。

お問い合せ先

3【補聴器】障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
4【障害者手帳カード化】障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
5【ペアレント・プログラム】障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
発達障害情報・支援センター URL http://www.rehab.go.jp/ddis/

6 医療費全国ワースト1脱却を目指します

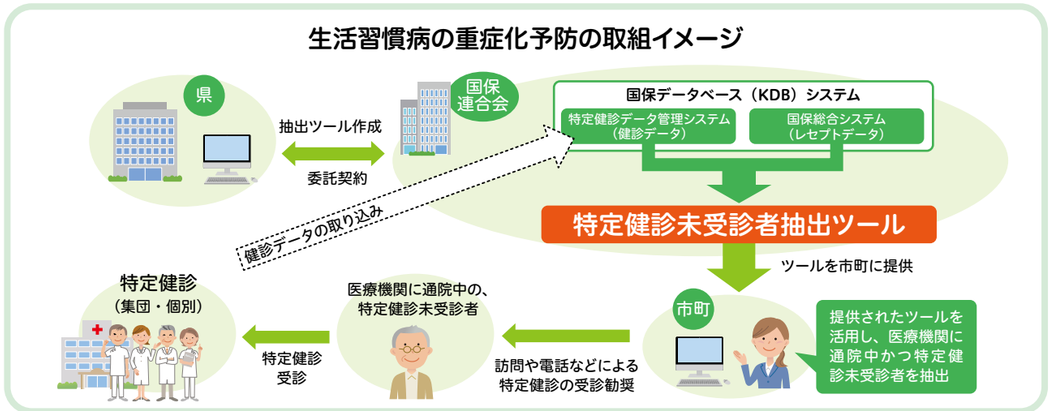
佐賀県は、市町国民健康保険の「一人当たり年齢調整後医療費(※1)」と、特定健診(※2)の結果における「糖尿病の可能性を否定できない人・強く疑われる人」の割合が、全国で最も高くなっています。

県では、自覚症状がないまま進行していく糖尿病などの生活習慣病の早期発見や重症化予防のために、特定健診の受診率向上を目指しています。そのため今年度は、医療機関に通院中で特定健診を受けられていない方々に対して、各市町からの訪問や電話などにより受診を勧めています。

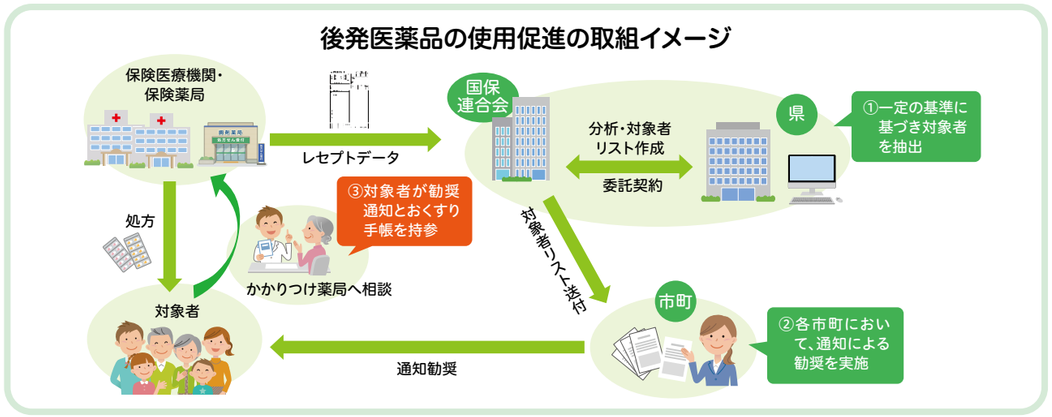
この他にも、後発医薬品に切り替えることで医療費の抑制効果が大きいと思われる方々に対して後発医薬品利用の勧奨通知を行うなど、県民の健康を保持するとともに医療費の適正化を図ることで、医療費全国ワースト1からの脱却を目指します。

※1．年齢調整後医療費…その地域の被保険者の年齢構成が、全国平均と同じだとした場合の医療費
※2．特定健診…40歳以上74歳以下を対象とした高血圧症、脂質異常症、糖尿病等その他の内臓脂肪の蓄積に起因する生活習慣病に関する健康診査

生活習慣病の重症化予防の取組イメージ



後発医薬品の使用促進の取組イメージ



お問い合せ先

6【医療費ワースト1脱却】国民健康保険課 ☎0952-25-7057 ✉kokuho@pref.saga.lg.jp

support

子育てを支えあう

佐賀県子育て
応援キャラクター
さがっぴぃ

1 多胎家庭の妊娠期からの支援を行います

双子や三つ子などの多胎妊娠や育児においては、情報が大変少なく、また、出産後には、子どもたちの授乳やおむつ交換、夜泣きなどのタイミングもまちまちであることから、睡眠不足や、外出や家事の困難さなどによる負担感や孤立感が生じやすいといえます。

県では、そうした多胎家庭に寄り添いたいという思いから、母子手帳のサポートブックによる情報提供や、ピアサポーターとして養成した多胎育児経験者との交流や育児相談、ヘルパー派遣による家事や外出の支援などを行います。

こうしたきめ細やかな支援を県全域に広げることで、少しでも安心して出産・育児ができる環境を整えていきます。

多胎家庭サポート事業

情報提供 理解促進	多胎育児経験者によるピアサポート	多胎家庭へのヘルパー派遣
・母子健康手帳のサポートブック配布 ・支援者研修や講演会	・ピアサポーターの養成 ・多胎妊婦等の交流会 相談支援	・家事援助 ・外出支援

2 がんになっても子育ての希望を持てるように

小児・AYA世代（Adolescent and Young Adult）と呼ばれる40歳未満の若年がん患者の皆さんは、環境の変化が大きい時期であり、他の世代とは異なる悩みや不安を抱えています。

妊孕性（にんようせい）温存治療支援事業

対象となる方

- 県内在住の**40歳未満**のがん患者
- がん治療により**妊よう性が低下する又は失う恐れがある**と医師に診断された方 など

助成上限額

精子の採取・凍結保存	3万円
卵子等の採取・凍結保存※	25万円

※卵子の採取及び胚（受精卵）の凍結、卵巣組織及び手術を伴う精子の採取・凍結を含む

男女ともに、がん治療の影響で、妊よう性（妊娠するための力）が低下又は失われる場合があるため、がん治療の前に精子や卵子等を採取し凍結保存する「妊よう性温存治療」を行う方法があります。この治療には、公的医療保険の適用がなく、経済的に大きな負担となっています。

このため、県では、40歳未満の若年がん患者を対象に、妊よう性温存治療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減し、将来的に子どもを産み育てることができるという希望を持ってがん治療ができる環境を整備しています。

3 「子育てし大〝券〟2020」で吉野ヶ里へGO！

「子育てし大県〝さが〟」プロジェクトの一環として平成29（2017）年度から毎年、吉野ヶ里歴史公園の入園料が無料となる招待券「子育てし大〝券〟」を配布しています。

県内だけでなく、県外の子育て世代の方にもご利用いただき、来園者数は年々増えています。園内には子どもたちに大人気の巨大なふわふわドームなど、楽しい遊具で遊んだり、バーベキューができるエリアもあります。ぜひ、この機会に吉野ヶ里歴史公園へお越しください。

子育てし大“券”2020

❶利用期間
令和2年9月1日（火）～
令和2年11月30日（月）

❷対象
中学生以下のお子様連れの方
（招待券1枚につき、お子様を含む最大10名様まで無料招待）

❸入手方法
方法1 吉野ヶ里歴史公園公式LINEより招待クーポンを入手
方法2 各種広告媒体、リーフレットより招待券を入手

LINE公式アカウント
@yoshinogari

4 不登校児童生徒への支援を推進しています

県教育委員会では、魅力ある学校づくりとともに、不登校児童生徒が主体的に社会的な自立や学校復帰に向かうための環境づくりが大切であることから、不登校児童生徒一人一人の状況に応じたきめ細やかな支援を推進しています。今年度はあらたに、不登校児童生徒への多様で適切な教育機会を確保するため、県教育支援センター「しいの木」に不登校対応コーディネーターを配置し、関係機関との連携を強化するなど支援の充実を図ります。こうした段階的・総合的な支援を通して、不登校児童生徒一人一人が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立し、安心して学校へ復帰することを目指します。相談や支援を希望される方は、各学校までご連絡ください。

お問い合せ先

1【多胎家庭】こども家庭課 ☎0952-25-7056 ✉kodomo-katei@pref.saga.lg.jp
さが多胎ネット URL http://ameblo.jp/greenpeas2004/
2【がん対策】がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp
がんポータルさが URL https://www.ganportal-saga.jp/josei/aya

お問い合せ先

3【吉野ヶ里歴史公園】都市計画課 ☎0952-25-7159 ✉toshikeikaku@pref.saga.lg.jp
4【不登校支援】学校教育課生徒支援室 ☎0952-25-7222 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

environment

くらしを守る

1 KAWARU プロジェクト始動！

県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいます。県民の皆様に、森・川・海での体験を通して佐賀の森・川・海のつながりを感じ、楽しんでいただくとともに、保全活動の輪を広げていくことを目指しています。

その一環として、「KAWARUプロジェクト」を始動し、県民の皆様が気軽に川に親しむ活動を始めるきっかけづくりを応援します。

今年度は、イベントや学習会開催等に新たにチャレンジする団体への活動支援事業（KAWARUチャレンジ事業）や、河川愛護推進団体がネットワークを広げるための交流会開催などを予定しています。こうしたイベント等に参加された方々が、楽しく学び体験しながら川を身近に感じる機会を提供していきます。

森川海人っプロジェクト
キャラクター
森川海人（もりかわかいと）くん

KAWARU PROJECT

川をもっと身近に、川が楽しくKAWAる

昨年度のチャレンジ事業実施状況

唐津市
（河川に残る土木遺産の学習会）

伊万里市
（川床体験）

鹿島市
（鮎獲り体験）

嬉野市
（救命救急講習会・河川清掃）

お問い合せ先

1【森川海人】河川砂防課 ☎0952-25-7540 ✉ kasensabou@pref.saga.lg.jp
佐賀県HP＞県土・まちづくり＞河川・砂防 URL https://www.pref.saga.lg.jp/list00675.html

2 交通安全対策～やめよう！佐賀のよかろうもん運転～

佐賀県は、人口10万人当たりの人身交通事故発生件数が全国ワーストレベルにあります。本年は、交通死亡事故が増加しており、とりわけ、夜間に道路横断中の歩行者が犠牲になる事故が多発しています。こうした状況を改善し、交通事故を防止するためには、「横断歩道は歩行者優先」「夜間の走行は原則ハイビームの使用」という交通ルールを守るとともに、「歩行者は反射材を着用する」という心がけが大切です。

また、佐賀県の人身交通事故の約半数は追突事故であることから、「前をよく見る」「十分な車間距離をとる」ことが事故防止の重要なポイントです。

- **車間詰めてもよかろうもん**
- **スマホ使ってもよかろうもん**
- **信号守らんでもよかろうもん**
- **合図出さんでもよかろうもん**

こうした「佐賀のよかろうもん運転」をなくし、安全で安心な佐賀県の実現につなげましょう。

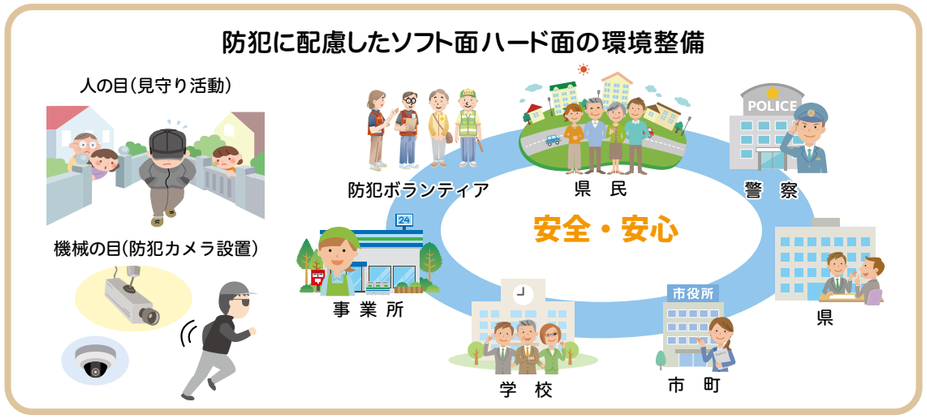
3 犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくり

昨年の「声かけ」「つきまとい」の認知件数は、203件でした。年々増加傾向にあり、平成27（2015）年の136件と比較すると約1・5倍と、子どもや女性を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。

犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくりは、人の目による見守り活動に加え、防犯カメラ等の機械による見守りの目を増やしていくことも重要です。

「仕事」「散歩」「花の水やり」など、普段の生活を通じて地域を見守る「ながら防犯」や通学路等の危険箇所への防犯カメラ設置など、ソフト面とハード面の環境整備を進めることにより、県民が犯罪に巻き込まれることなく、安心して暮らせる佐賀県の実現に取り組んでいきます。

防犯カメラ設置推進

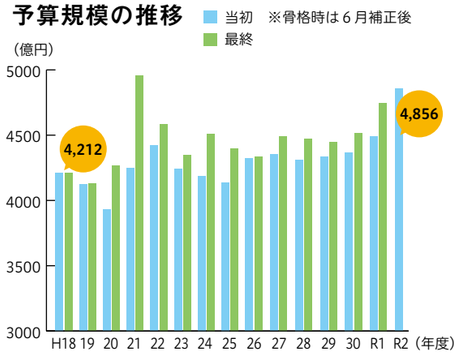


お問い合せ先

2【よかろうもん運転】警察本部交通企画課 ☎0952-24-1111（代表）
3【安全安心なまちつづくり】警察本部交通企画課 ☎0952-24-1111（代表） URL http://www.police.pref.saga.jp

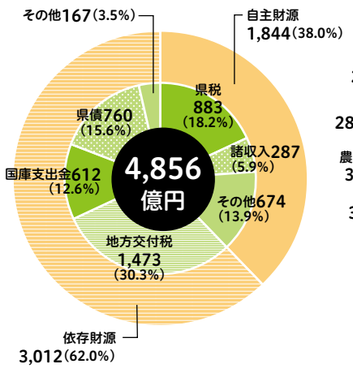
令和２年度佐賀県の当初予算

予算規模の推移

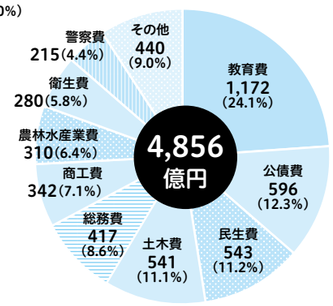


※R1年度の最終は、新型コロナ対応予算反映後の数値。

歳入予算



歳出予算



世界に誇れる佐賀県

佐賀が誇る宝

板のり収穫量
18億1,703万枚

全国シェア 24.9% 全国1位

<H30年>農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

ハウスみかん出荷量 収穫量も日本一
6,590トン

全国シェア 36.0% 全国1位

<R1年産>農林水産省「果樹生産出荷統計」

シリコンウエハ出荷額（表面研磨したもの）
1,232億円

全国シェア 25.9% 全国1位

<H29年>経済産業省「工業統計調査」

このしろ生産額
1億9,400万円

全国シェア 24.6% 全国1位

<H29年>農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

子育てしやすい佐賀

人口10万人当たり薬局数
63.4施設

全国平均 47.1施設 全国1位

<H30年度末>厚生労働省「衛生行政報告例」

普通教室の大型提示装置整備率
94.6%

全国平均 52.2% 全国1位

<H30年度>文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

合計特殊出生率
1.64

全国平均 1.36 全国5位

<R1年厚生労働省「人口動態統計（概数）」>

人が輝く県

人口1,000人あたり消防団員数
23.0人

全国平均 6.6人 全国1位

<H30年>消防庁「消防白書」、総務省「住民基本台帳人口（H30.1.1）」

障害者の法定雇用率達成企業の割合
68.7%

全国平均 48.0% 全国2位

<R1.12.25>厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」

年少（15歳未満）人口割合
13.5%

全国平均 12.1% 全国3位

<R1.10.1>総務省「人口推計」

正規職員・従業員割合（15～34歳）
72.5%

全国7位

<H29.10.1>総務省「就業構造基本調査」

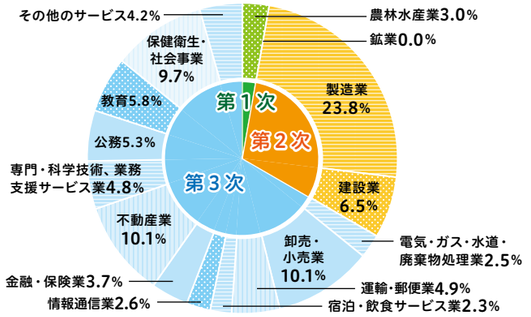
財政課 ☎0952-25-7013 ✉zaisei@pref.saga.lg.jp
ホームページ＞県政情報＞財政・予算・県庁運営＞財政状況・予算・決算＞令和2年度予算

佐賀県のすがた

佐賀県の産業

経済活動別県内総生産の構成比

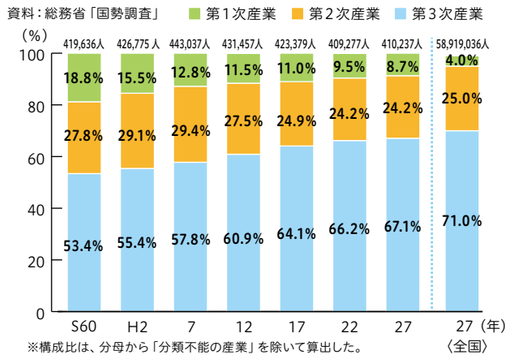
資料：県統計分析課「平成29年度　県民経済計算」



※各産業の構成比の中には、輸入品に課される税等を含んでいないため、合計は100%にならない。

就業人口の推移

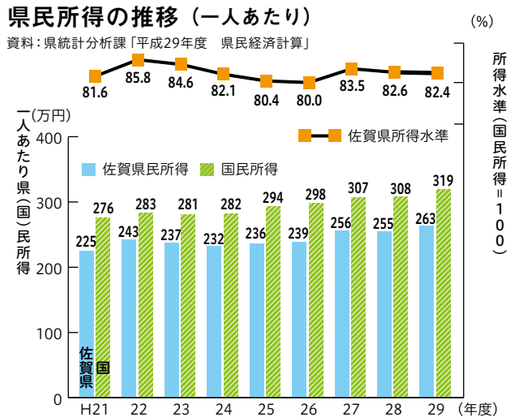
資料：総務省「国勢調査」　第１次産業　第２次産業　第３次産業



※構成比は、分母から「分類不能の産業」を除いて算出した。

県民所得の推移（一人あたり）

資料：県統計分析課「平成29年度　県民経済計算」

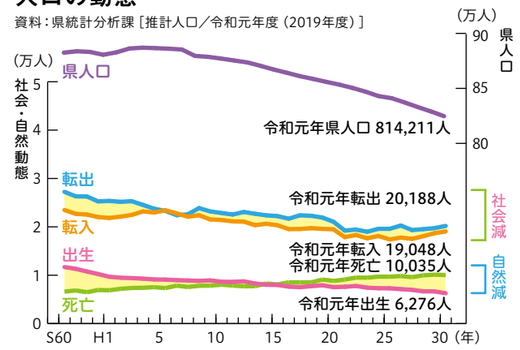


※一人当たり県（国）民所得は、企業の所得なども含んだ指標であり、個人の給与や収入を示したものではない。

佐賀県の人口

人口の動態

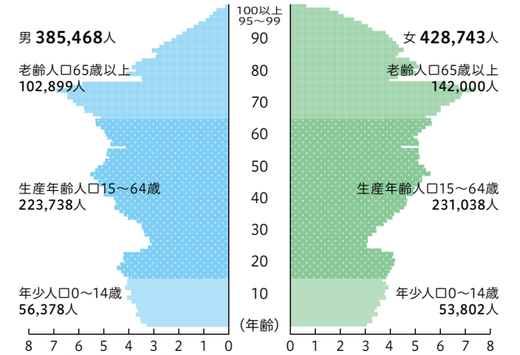
資料：県統計分析課［推計人口／令和元年度（2019年度）］



※人口は各年10月1日現在。
※社会・自然動態の数値は、各年とも前年10月1日から当年9月末までの1年間の集計である。

人口ピラミッド

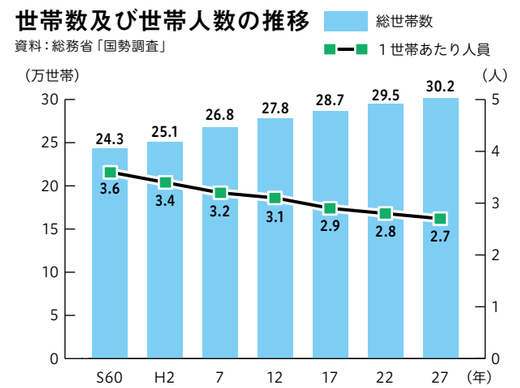
資料：県統計分析課［推計人口／令和元年度（2019年度）］



※人口は令和元年10月1日現在。
※ただし、年齢不詳者を除外しているため合計とは一致しない。

世帯数及び世帯人数の推移

資料：総務省「国勢調査」



※1世帯あたりの人員数は、一般世帯数、一般世帯の人員数により算出している。